2020年 ＣＳＡフォーラム　主催　プロジェクト鳴子CSA

作り手(生産者)と食べ手(消費者)をつなぎ、農と食を支え合う関係をつくっていくことで、新しい農業のかたちが見えてきます。

CSA(Community Supported Agriculture、「地域支援型農業」)とは、地域の農と食の支え合いのしくみのことです。消費者が、地域の農家から直接農産物を定期購入することで、農家にとっては安定した収入になり、消費者にとっては新鮮で安全な農産物を食べることができるなど、双方に利点のある取組みといえます。

プロジェクト鳴子CSAでは、トヨタ財団の助成事業として、仙台市と大崎市鳴子地区で、鳴子の新鮮野菜を消費者に提供する、会員制の「よいっこ便」に取組んできました。本フォーラムではその活動報告と、宮城県内でCSAによる農産物販売に取組む若手農家の皆さんの活動紹介、さらにCSAの今後の展開について話し合うディスカッションを予定しています。CSAに関心のある方はどなたでもご参加ください。

プログラム〔予定〕

＜Ⅰ＞CSAの試行「よいっこ便」の活動報告

野菜のCSAの取組み「よいっこ便」を担当したスタッフから、よいっこ便の成果、課題、今後の提案等について報告します。

〔報告者〕佐藤匠太(運営スタッフ)

〔コメンテーター〕
活動報告、ディスカッションではお二人から随時助言をいただきます。

●結城登美雄氏
（民俗研究家、総合アドバイザー）

●門田一徳氏
（河北新報社、CSA研究）

＜Ⅱ＞CSAに取組む若手農家の活動紹介

宮城県内でＣＳＡに取組むお二人から、その活動内容について紹介いただきます。

〔ゲスト〕

●渡辺重貴さん（仙台市 秋保）
オーガニック野菜を栽培する「くまっこ農園」を経営。仙台の消費者を対象に定期的に野菜セットを提供。消費者との交流にも積極的に取組む。

●結城翔太さん（亘理町）
リンゴを栽培する「結城果樹園」を経営。予約制の直接販売でリンゴを提供。味が評判をよび固定客を獲得する。

＜Ⅲ＞ディスカッション

「CSAの今後の展開」についてパネリストの皆さんに話し合っていただきます。

〔パネリスト〕

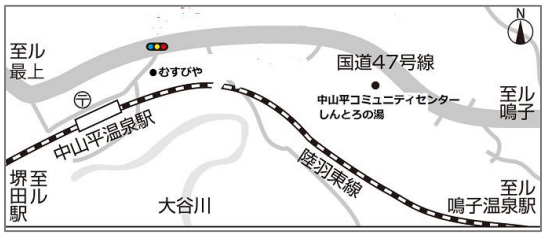
●岩間友希さん
農業と暮しを結ぶAgri Style Gallery TOHOKUを運営。仙台と東北の農業をつなぐファーマーズマーケット「多芸多彩市」を企画、開催する。

●渡辺重貴さん

●結城翔太さん　　**ほか**

とき　**2020年 ３月15日（日）13:30～16:30**

ところ　**中山平コミュニティセンター**　宮城県大崎市鳴子温泉字星沼19-1
陸羽東線中山平温泉から徒歩10分、「しんとろの湯」隣り



●参加費無料
●要申込み　お名前・連絡先をご記入のうえ、３月13日(金)まで
FAXまたはEmailでお申し込みください。

●お問い合わせ先
プロジェクト鳴子CSA　事務局：NPO法人鳴子の米プロジェクト
〒989-6832　宮城県大崎市鳴子温泉字星沼77-84　TEL　0229-29-9436

お申込書　FAX／0229-29-9437　E-mail／komepro181@yahoo.co.jp

お名前	連絡先（電話、メールアドレス等）